



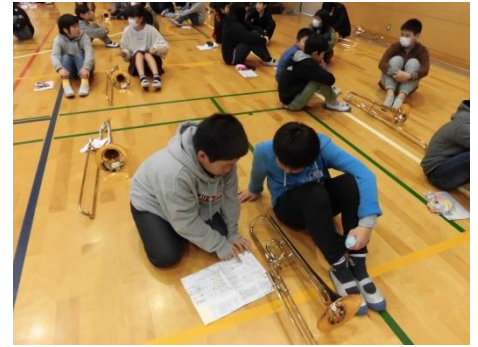
## がんばってます！トランペット鼓隊練習

3学期に入って、トランペット鼓隊の移杖式に向けて、本格的な練習が始まりました。

ペアの6年生から手作りの楽譜をもらった5年生は、楽譜をたよりに一生懸命練習に励んでいます。6年生も楽器の扱い方から吹き方、演奏の仕方や演奏に望む態度に至るまで、ひとつひとつのことをていねいに5年生に教えてくれています。

練習中、どうですか？と声をかけると、「もう〇〇が吹けるようになりました」とか「教えたことがちゃんとできるようになりました」という返事が6年生から返ってきました。6年生はそれぞれが相手のことを考えて自分なりに教え方を工夫してくれています。できるようになった5年生を見て、ちょっぴり誇らしそうです。5年生も、そんな6年生の思いに応えようと必死についていっています。呉中央小学校では、毎年こうやって先生からの一斉指導ではなく、6年生が5年生に伝えるという形で伝統が引き継がれています。教えることで、またそれに応えることでひとりひとりの子供達が「自分」を育てています。伝統がつながっていく、これが呉中央小学校の良さだと子供たちの姿から感じています。

2月22日（金）はいよいよ移杖式です。子供達が立派にがんばる姿を応援に来てください。



## 日本伝統楽器の音色にききほれました

24日（木）に、5・6年生対象の邦楽鑑賞会がありました。

呉三曲会から5人の方に来ていただき、琴や尺八、三味線の演奏を聴かせていただきました。

「春の海」や「六段の調べ」、「さくら」などの曲を披露していただきながら、それぞれの楽器の特徴も教えていただきました。

演奏を聴いた後は、楽器を実際に演奏する体験もさせていただきました。

爪をつけて琴を弾いたり、尺八と同じつくりになっているパイプで練習したり、いろいろな体験をさせていただきました。琴を弾いて音が出る喜びを感じたり、音の出にくい尺八の音を出すのに奮闘したり、普段触れることの少ない楽器体験に、子供達も喜んで挑戦していました。

「やさしい音で聴いていて気持ちよかった。」邦楽鑑賞会後の子供の感想です。伝統楽器の音色をしっかりと楽しむことができたひとときでした。

